

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
主要投資対象	「しんきん世界好配当利回り株マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することがあります。
運用方針	①マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標とします。 ②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④株式の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。 ⑤資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたとき等、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。
主な投資制限	①株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
収益分配方針	年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益も含まれます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

運用報告書(全体版)

しんきん 世界好配当利回り株ファンド (1年決算型)

決算日
(第6期：2024年5月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん世界好配当利回り株ファンド(1年決算型)」は2024年5月10日に第6期の決算を行いました。


ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
＜コールセンター＞ ☎ 0120-781812
(土日、休日を除く) 携帯電話からは03-5524-8181
9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきん世界好配当利回り株ファンド（1年決算型）	頁
最近5期の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
第6期の運用経過等	2
1万口当たりの費用明細	7
売買及び取引の状況	9
株式売買比率	9
利害関係人との取引状況等	9
第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況	9
自社による当ファンドの設定・解約状況	10
組入資産の明細	10
投資信託財産の構成	10
資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
損益の状況	11
分配金のお知らせ	11
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド	12

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		参考指標※		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
		税込み 分配	期騰落 率	ポイント	期騰落 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2期(2020年5月11日)	7,272	0	△25.6	10,064	△2.8	92.5	—	252
3期(2021年5月10日)	11,688	0	60.7	15,022	49.3	97.7	—	611
4期(2022年5月10日)	13,709	0	17.3	16,709	11.2	96.6	—	830
5期(2023年5月10日)	15,753	0	14.9	18,562	11.1	93.5	—	1,368
6期(2024年5月10日)	19,327	0	22.7	26,722	44.0	97.7	—	2,528

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

※参考指標はMSCI-KOKUSAI インデックス(除く日本・米ドルベース)を円換算し、2018年11月15日を10,000としてしきんアセットマネジメント投信が算出したものです。なお、当初設定時を10,000として記載しています。(以下同じ。)

※ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。

※この情報はMSCIの営業秘密であり、またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		参考指標		株式組入比率	株式先物比率
		騰落	率	ポイント	騰落率		
(期首)	円		%	ポイント	%	%	%
2023年5月10日	15,753	—	—	18,562	—	93.5	—
5月末	15,721	△0.2		19,190	3.4	94.0	—
6月末	16,576	5.2		21,086	13.6	94.7	—
7月末	16,844	6.9		21,434	15.5	97.4	—
8月末	17,023	8.1		21,449	15.5	96.5	—
9月末	16,742	6.3		21,011	13.2	95.8	—
10月末	15,971	1.4		20,733	11.7	96.0	—
11月末	16,905	7.3		22,158	19.4	98.5	—
12月末	17,174	9.0		22,183	19.5	98.1	—
2024年1月末	17,612	11.8		23,231	25.2	98.6	—
2月末	17,824	13.1		24,825	33.7	98.4	—
3月末	18,874	19.8		25,925	39.7	98.7	—
4月末	19,066	21.0		25,988	40.0	97.2	—
(期末)							
2024年5月10日	19,327	22.7		26,722	44.0	97.7	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

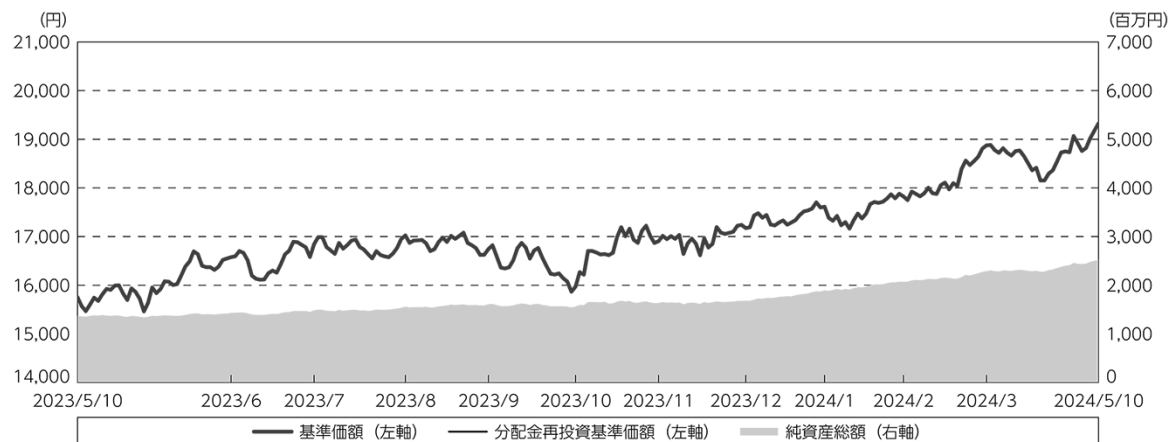
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○第6期の運用経過等（2023年5月11日～2024年5月10日）

<当期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年5月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドは、親投資信託である「しんきん世界好配当利回り株マザーファンド」を通じて、世界の先進国・地域(日本を除く)の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・ 堅調な経済指標を受けて米国の景気後退懸念が和らいだこと。
- ・ 人工知能(AI)関連テクノロジーに対する需要をめぐり、楽観的な見方が広がったこと。
- ・ 米国政府の債務上限問題が与野党の合意により解決に至ったこと。

<下落要因>

- ・ 米国インフレ指標の上振れを受けて、米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ開始時期が後ずれするとの懸念が広がったこと。
- ・ イスラエルとハマスの紛争が勃発し、地政学リスクが高まったこと。
- ・ 中国経済の成長に対する懸念が高まったこと。

<投資環境>

(2023年5～6月)

グローバル株式市場は上昇しました。A Iの普及に対する期待を背景とした情報技術銘柄の上昇が、相場をけん引しました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。主要テクノロジー企業の好決算などを受け、A Iの普及に対する期待が高まったほか、米国政府の債務上限問題が与野党の合意により解決に至ったことや堅調な経済指標を受けて米国の景気後退懸念が和らいだことなどが、相場のプラス要因となりました。FRBは5月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で0.25%の利上げを実施した後、6月に11会合ぶりに政策金利の据え置きを決定しました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。情報技術銘柄に加え、金利の先高観により、金融銘柄が上昇をけん引しました。欧州中央銀行(ECB)は5月の0.25%の利上げに続き、6月も0.25%の利上げを実施しました。

参考指標の推移



(2023年7～9月)

グローバル株式市場は下落しました。FRBが政策金利を長期間にわたり高水準に維持するとの見通しを示したことで、金利上昇による主要国の経済成長に及ぼす影響や、中国経済の成長に対する懸念がマイナス要因となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は下落しました。インフレが鈍化傾向にあることやおおむね米国企業の決算が市場予想を上回る内容であったことなどを受け、景気のソフトランディング期待が高まり、7月は上昇しましたが、8月以降、金融引締めに対する懸念が高まり、下落に転じました。FRBは7月のFOMCで2会合ぶりに0.25%の利上げを実施しました。9月のFOMCでは政策金利を据え置きましたが、参加者の金利予測分布図において、年内あと1回の利上げの可能性に加え、政策金利を長期間にわたり高水準に維持するとの見通しが示されました。ユーロ圏株式市場は下落しました。ECBは7月と9月にそれぞれ0.25%の利上げを実施しました。

(2023年10～12月)

グローバル株式市場は上昇しました。イスラエルとハマスの紛争が勃発し、地政学リスクが高まったことで10月は下落しましたが、中東情勢における過度な懸念が後退したことや、インフレ圧力の低下を受けて、投資家の間では欧米の金利がピークに達したとの楽観的な見方が広がったことで上昇に転じました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。インフレ減速を背景に、FRBによる利下げ開始が目前に迫っているとの期待が支援材料となりました。情報技術や不動産等の金利感応度が高いセクターの上昇が目立った一方で、エネルギーセクターは下落しました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。金利がピークに達したとの見方が追い風となりました。米国株式同様、不動産や情報技術セクターが優位に展開する相場となりました。一方で、ヘルスケアやエネルギーセクターは下落しました。

(2024年1～3月)

グローバル株式市場は上昇しました。2024年後半に主要中央銀行が利下げを開始するとの期待が追い風となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。2024年後半に利下げが開始されるとの期待や好調な企業決算等が支援材料となりました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。A I 関連テクノロジーに対する需要をめぐり、楽観的な見方が広がったことを受けて、情報技術セクターが市場をけん引しました。そのほか、金融や一般消費財・サービス、資本財・サービス等のセクターも堅調に推移しました。

(2024年4～5月)

グローバル株式市場はほぼ横ばいとなりました。米国インフレ指標の上振れを受けて、FRBの利下げ開始時期が後ずれするとの懸念が広がったものの、その後に発表された4月の米雇用統計では、非農業部門の雇用者数の伸びが市場予想を下回ったことから、懸念が後退しました。

市場別に見ると、米国株式市場はほぼ横ばいとなりました。市場予想を上回る米国インフレ率の発表を受けて、早期利下げ期待が後退したものの、その後に発表された米雇用統計を受け、米労働市場の過熱感が薄れる方向にあるとの見方が広がりました。ユーロ圏株式市場はほぼ横ばいとなりました。米国における利下げをめぐる思わくから、一時下落しましたが、その後元の価格水準まで値を戻す展開となりました。

<当ファンドのポートフォリオ>

親投資信託である「しんきん世界好配当利回り株マザーファンド」の受益証券への投資を行い、当期を通じて組入比率が高位となるように調整しました。

●しんきん世界好配当利回り株マザーファンド

設定・解約および個別銘柄の収益見通し、配当方針、株主への利益還元などの要素に加え、株価の割安度合いなどに対する判断結果から、必要に応じて銘柄の加除および入替え等を行った結果、組入銘柄数は期首の40銘柄に対し、期末時点では44銘柄になりました。なお、運用の指図に関する権限は、シュロダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

<業種構成>

参考指標（MSCI-KOKUSAIインデックス）対比で見た業種別の期中平均組入比率は、次の表のとおりです。

業 種	ポートフォリオ	参 考 指 標	差 異
金融	20.6%	15.1%	+ 5.4%
コミュニケーション・サービス	17.7%	7.3%	+10.4%
ヘルスケア	13.4%	12.8%	+ 0.7%
生活必需品	11.8%	7.1%	+ 4.7%
一般消費財・サービス	9.6%	10.3%	△ 0.7%
情報技術	7.6%	23.3%	△15.7%
資本財・サービス	6.1%	10.2%	△ 4.1%
エネルギー	5.9%	4.9%	+ 1.0%
素材	5.4%	4.0%	+ 1.4%
不動産	1.9%	2.3%	△ 0.4%
公益事業	0.0%	2.7%	△ 2.7%

※比率は株式部分のみを計算。計算にはBloombergを使用。

業種別の期中平均組入比率は、「コミュニケーション・サービス」、「金融」などの業種を参考指標と比較して高位とし、「情報技術」、「資本財・サービス」などの業種を低位としました。

「金融」、「情報技術」などの組入れが、ポートフォリオ（米ドルベース）の騰落率に対して主なプラス要因になり、「ヘルスケア」、「コミュニケーション・サービス」などの組入れが、主なマイナス要因になりました。

<国別構成>

参考指標（MSCI-KOKUSAIインデックス）対比で見た国別の期中平均組入比率は、次の表のとおりです。

地 域	国 名	ポートフォリオ	参 考 指 標	差 異
北米地域	アメリカ	35.4%	74.6%	△39.2%
	カナダ	0.0%	3.4%	△ 3.4%
欧州地域	イギリス	21.3%	4.2%	+17.1%
	ドイツ	16.6%	2.4%	+14.1%
	フランス	10.0%	3.5%	+ 6.5%
	イタリア	4.5%	0.8%	+ 3.8%
	スイス	4.4%	2.8%	+ 1.5%
	ベルギー	3.0%	0.3%	+ 2.7%
	オランダ	2.7%	1.3%	+ 1.3%
	スペイン	2.1%	0.8%	+ 1.4%
	スウェーデン	0.0%	0.9%	△ 0.9%
	デンマーク	0.0%	1.0%	△ 1.0%
	フィンランド	0.0%	0.3%	△ 0.3%
	ノルウェー	0.0%	0.2%	△ 0.2%
	アイルランド	0.0%	0.1%	△ 0.1%
	イスラエル	0.0%	0.2%	△ 0.2%
	ポルトガル	0.0%	0.1%	△ 0.1%
	オーストリア	0.0%	0.1%	△ 0.1%
アジア・パシフィック地域	シンガポール	0.0%	0.4%	△ 0.4%
	オーストラリア	0.0%	2.1%	△ 2.1%
	香港	0.0%	0.6%	△ 0.6%
	ニュージーランド	0.0%	0.1%	△ 0.1%

※比率は株式部分のみを計算。計算にはBloombergを使用。

国別の期中平均組入比率は、「イギリス」、「ドイツ」などの国を参考指標と比較して高位とし、「アメリカ」、「カナダ」などの国を低位としました。

「アメリカ」、「イギリス」などの組入れが、ポートフォリオ（米ドルベース）の騰落率に対して主なプラス要因になり、「ドイツ」の組入れが、主なマイナス要因になりました。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドは、世界の先進国・地域（日本を除く）の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークはありません。

当期の基準価額の騰落率は+22.7%となり、同期間の参考指標の騰落率+44.0%を21.3ポイント下回りました。

主な要因は、業種別ではコミュニケーション・サービスやヘルスケアでの銘柄選択、国別ではアメリカやドイツなどでの銘柄選択がマイナスに寄与したことです。

<分配金>

当期の分配金については、基準価額の水準、市場動向等の諸々の状況を勘案して見送りとなりました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第6期
	2023年5月11日～ 2024年5月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,326

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、主として親投資信託である「しんきん世界好配当利回り株マザーファンド」の受益証券への投資を行い、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

●しんきん世界好配当利回り株マザーファンド

引き続き、経営力に秀で、質の高い、収益見通しのより明瞭な銘柄の発掘に注力し、特に明確な配当方針を持つ企業や、株主への利益還元真剣に取り組む姿勢を明らかにしている企業を選好して投資するとともに、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、株式組入比率は、原則として高位を保つこととし、銘柄の加除および入替え等が必要な場合は随時行っていきます。

なお、運用の指図に関する権限は、シュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年5月11日～2024年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 252	% 1.463	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(151)	(0.880)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(95)	(0.550)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.022	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.022)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	5	0.031	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(5)	(0.031)	
(d) そ の 他 費 用	7	0.041	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.034)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	268	1.557	
期中の平均基準価額は、17,194円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

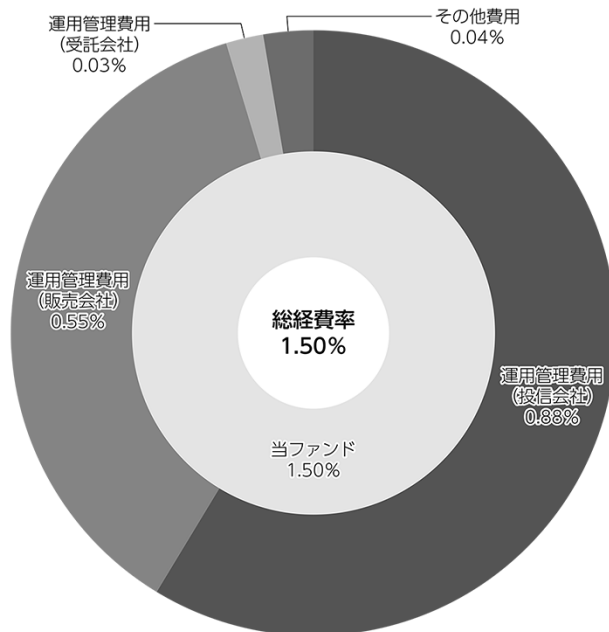
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年5月11日～2024年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド	千口 200,828	千円 851,400	千口 27,629	千円 110,100

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年5月11日～2024年5月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	しんきん世界好配当利回り株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	23,615,767千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	28,983,303千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.81

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月11日～2024年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年5月11日～2024年5月10日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年5月11日～2024年5月10日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年5月10日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド		361,377	534,575	2,517,103

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド	千円 2,517,103	% 98.8
コール・ローン等、その他	31,094	1.2
投資信託財産総額	2,548,197	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん世界好配当利回り株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(30,576,848千円)の投資信託財産総額(30,901,072千円)に対する比率は99.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年5月10日現在、1ドル=155.70円、1ユーロ=167.83円、1ポンド=194.95円、1スイスフラン=171.72円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年5月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,548,197,887
コール・ローン等	31,094,861
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド(評価額)	2,517,103,018
未収利息	8
(B) 負債	20,132,076
未払解約金	5,814,457
未払信託報酬	14,264,055
その他未払費用	53,564
(C) 純資産総額(A-B)	2,528,065,811
元本	1,308,061,641
次期繰越損益金	1,220,004,170
(D) 受益権総口数	1,308,061,641口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,327円

(注1) 当ファンドの期首元本額は868,748,612円、期中追加設定元本額は864,608,205円、期中一部解約元本額は425,295,176円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1,9327円です。

○損益の状況 (2023年5月11日～2024年5月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 4,562
受取利息	171
支払利息	△ 4,733
(B) 有価証券売買損益	367,992,079
売買益	408,091,518
売買損	△ 40,099,439
(C) 信託報酬等	△ 25,281,564
(D) 当期損益金(A+B+C)	342,705,953
(E) 前期繰越損益金	161,534,342
(F) 追加信託差損益金	715,763,875
(配当等相当額)	(593,977,012)
(売買損益相当額)	(121,786,863)
(G) 計(D+E+F)	1,220,004,170
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,220,004,170
追加信託差損益金	715,763,875
(配当等相当額)	(596,510,020)
(売買損益相当額)	(119,253,855)
分配準備積立金	504,240,295

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(75,416,377円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(267,289,576円)、信託約款に規定する収益調整金(715,763,875円)および分配準備積立金(161,534,342円)より分配対象収益は1,220,004,170円(10,000口当たり9,326円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注5) 信託財産の運用指図に係る権限の一部を委託するために要した費用として、マザーファンドの純資産総額のうち当ファンドに帰属する部分に対して、年1万分の50の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<約款変更のお知らせ>

新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について投資信託約款に所要の変更を行いました。(2023年8月5日実施)

運用報告書

親投資信託

しんきん世界好配当利回り株マザーファンド

第19期

(決算日：2024年5月10日)

しんきん世界好配当利回り株マザーファンドの第19期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	<p>①日本を除く世界各国の配当利回りの高い企業の株式へ分散投資を行うことにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標とします。</p> <p>②運用指図に関する権限は、シュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託します。</p> <p>③株式の銘柄選定にあたっては、銘柄毎の配当利回り・増配期待・流動性に着目しつつ、企業のファンダメンタル分析も勘案して行います。</p> <p>④外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>⑥資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。</p>
主要投資対象	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
投資制限	<p>①株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>③新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合には、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>④同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額10%以下とします。</p> <p>⑤同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合には、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>⑥同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>⑦投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指標※		株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	円	騰落率	ポイント	騰落率			
15期(2020年5月11日)	16,723	△24.6%	23,573	△2.8%	93.0%	—	15,840
16期(2021年5月10日)	27,302	63.3%	35,185	49.3%	98.1%	—	25,898
17期(2022年5月10日)	32,490	19.0%	39,136	11.2%	96.9%	—	23,763
18期(2023年5月10日)	37,853	16.5%	43,478	11.1%	93.5%	—	27,298
19期(2024年5月10日)	47,086	24.4%	62,590	44.0%	98.2%	—	30,671

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指標※		株式先物比率	投資信託証券組入比率
	円	騰落率	ポイント	騰落率		
(期首) 2023年5月10日	37,853	—	43,478	—	93.5%	—
5月末	37,806	△0.1%	44,947	3.4%	94.0%	—
6月末	39,903	5.4%	49,389	13.6%	94.8%	—
7月末	40,597	7.2%	50,205	15.5%	97.5%	—
8月末	41,079	8.5%	50,238	15.5%	96.5%	—
9月末	40,447	6.9%	49,213	13.2%	95.9%	—
10月末	38,630	2.1%	48,561	11.7%	96.1%	—
11月末	40,941	8.2%	51,899	19.4%	98.5%	—
12月末	41,637	10.0%	51,957	19.5%	98.2%	—
2024年1月末	42,746	12.9%	54,413	25.2%	98.6%	—
2月末	43,309	14.4%	58,145	33.7%	98.5%	—
3月末	45,902	21.3%	60,723	39.7%	98.8%	—
4月末	46,428	22.7%	60,871	40.0%	97.2%	—
(期末) 2024年5月10日	47,086	24.4%	62,590	44.0%	98.2%	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

※参考指標はMSCI-KOKUSAI インデックス（除く日本・米ドルベース）を円換算し、2005年11月14日を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。（以下同じ。）

※ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。

※この情報はMSCIの営業秘密であり、またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

○第19期の運用経過等（2023年5月11日～2024年5月10日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、世界の先進国・地域（日本を除く）の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・堅調な経済指標を受けて米国の景気後退懸念が和らいだこと。
- ・人工知能（A I）関連テクノロジーに対する需要をめぐり、楽観的な見方が広がったこと。
- ・米国政府の債務上限問題が与野党の合意により解決に至ったこと。

＜下落要因＞

- ・米国インフレ指標の上振れを受けて、米連邦準備制度理事会（F R B）の利下げ開始時期が後ずれするとの懸念が広がったこと。
- ・イスラエルとハマスの紛争が勃発し、地政学リスクが高まったこと。
- ・中国経済の成長に対する懸念が高まったこと。

＜投資環境＞

（2023年5～6月）

グローバル株式市場は上昇しました。A Iの普及に対する期待を背景とした情報技術銘柄の上昇が、相場をけん引しました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。主要テクノロジー企業の好決算などを受け、A Iの普及に対する期待が高まったほか、米国政府の債務上限問題が与野党の合意により解決に至ったことや堅調な経済指標を受けて米国の景気後退懸念が和らいだことなどが、相場のプラス要因となりました。F R Bは5月の米連邦公開市場委員会（F O M C）で0.25%の利上げを実施した後、6月に11会合ぶりに政策金利の据え置きを決定しました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。情報技術銘柄に加え、金利の先高観により、金融銘柄が上昇をけん引しました。欧州中央銀行（E C B）は5月の0.25%の利上げに続き、6月も0.25%の利上げを実施しました。

(2023年7～9月)

グローバル株式市場は下落しました。FRBが政策金利を長期間にわたり高水準に維持するとの見通しを示したことで、金利上昇による主要国の経済成長に及ぼす影響や、中国経済の成長に対する懸念がマイナス要因となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は下落しました。インフレが鈍化傾向にあることやおおむね米国企業の決算が市場予想を上回る内容であったことなどを受け、景気のソフトランディング期待が高まり、7月は上昇しましたが、8月以降、金融引締めに対する懸念が高まり、下落に転じました。FRBは7月のFOMCで2会合ぶりに0.25%の利上げを実施しました。9月のFOMCでは政策金利を据え置きましたが、参加者の金利予測分布図において、年内あと1回の利上げの可能性に加え、政策金利を長期間にわたり高水準に維持するとの見通しが示されました。ユーロ圏株式市場は下落しました。ECBは7月と9月にそれぞれ0.25%の利上げを実施しました。

(2023年10～12月)

グローバル株式市場は上昇しました。イスラエルとハマスの紛争が勃発し、地政学リスクが高まったことで10月は下落しましたが、中東情勢における過度な懸念が後退したことや、インフレ圧力の低下を受けて、投資家の間では欧米の金利がピークに達したとの楽観的な見方が広がったことで上昇に転じました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。インフレ減速を背景に、FRBによる利下げ開始が目前に迫っているとの期待が支援材料となりました。情報技術や不動産等の金利感応度が高いセクターの上昇が目立った一方で、エネルギーセクターは下落しました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。金利がピークに達したとの見方が追い風となりました。米国株式同様、不動産や情報技術セクターが優位に展開する相場となりました。一方で、ヘルスケアやエネルギーセクターは下落しました。

(2024年1～3月)

グローバル株式市場は上昇しました。2024年後半に主要中央銀行が利下げを開始するとの期待が追い風となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。2024年後半に利下げが開始されるとの期待や好調な企業決算等が支援材料となりました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。AI関連テクノロジーに対する需要をめぐり、楽観的な見方が広がったことを受けて、情報技術セクターが市場をけん引しました。そのほか、金融や一般消費財・サービス、資本財・サービス等のセクターも堅調に推移しました。

(2024年4～5月)

グローバル株式市場はほぼ横ばいとなりました。米国インフレ指標の上振れを受けて、FRBの利下げ開始時期が後ずれするとの懸念が広がったものの、その後に発表された4月の米雇用統計では、非農業部門の雇用者数の伸びが市場予想を下回ったことから、懸念が後退しました。

市場別に見ると、米国株式市場はほぼ横ばいとなりました。市場予想を上回る米国インフレ率の発表を受けて、早期利下げ期待が後退したものの、その後に発表された米雇用統計を受け、米労働市場の過熱感が薄れる方向にあるとの見方が広がりました。ユーロ圏株式市場はほぼ横ばいとなりました。米国における利下げをめぐる思わくから、一時下落しましたが、その後元の価格水準まで値を戻す展開となりました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

設定・解約および個別銘柄の収益見通し、配当方針、株主への利益還元などの要素に加え、株価の割安度合いなどに対する判断結果から、必要に応じて銘柄の加除および入替え等を行った結果、組入銘柄数は期首の40銘柄に対し、期末時点では44銘柄になりました。

なお、運用の指図に関する権限は、シュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

（業種構成）

参考指標（MSCI-KOKUSAIインデックス）対比で見た業種別の期中平均組入比率は、次の表のとおりです。

業種	ポートフォリオ	参考指標	差異
金融	20.6%	15.1%	+ 5.4%
コミュニケーション・サービス	17.7%	7.3%	+10.4%
ヘルスケア	13.4%	12.8%	+ 0.7%
生活必需品	11.8%	7.1%	+ 4.7%
一般消費財・サービス	9.6%	10.3%	△ 0.7%
情報技術	7.6%	23.3%	△15.7%
資本財・サービス	6.1%	10.2%	△ 4.1%
エネルギー	5.9%	4.9%	+ 1.0%
素材	5.4%	4.0%	+ 1.4%
不動産	1.9%	2.3%	△ 0.4%
公益事業	0.0%	2.7%	△ 2.7%

※比率は株式部分のみを計算。計算にはBloombergを使用

業種別の期中平均組入比率は、「コミュニケーション・サービス」、「金融」などの業種を参考指標と比較して高位とし、「情報技術」、「資本財・サービス」などの業種を低位としました。

「金融」、「情報技術」などの組入れが、ポートフォリオ（米ドルベース）の騰落率に対して主なプラス要因になり、「ヘルスケア」、「コミュニケーション・サービス」などの組入れが、主なマイナス要因になりました。

(国別構成)

参考指標 (MSCI-KOKUSAIインデックス) 対比で見た国別の期中平均組入比率は、次の表のとおりです。

地 域	国 名	ポートフォリオ	参 考 指 標	差 異
北米地域	アメリカ	35.4%	74.6%	△39.2%
	カナダ	0.0%	3.4%	△ 3.4%
欧州地域	イギリス	21.3%	4.2%	+17.1%
	ドイツ	16.6%	2.4%	+14.1%
	フランス	10.0%	3.5%	+ 6.5%
	イタリア	4.5%	0.8%	+ 3.8%
	スイス	4.4%	2.8%	+ 1.5%
	ベルギー	3.0%	0.3%	+ 2.7%
	オランダ	2.7%	1.3%	+ 1.3%
	スペイン	2.1%	0.8%	+ 1.4%
	スウェーデン	0.0%	0.9%	△ 0.9%
	デンマーク	0.0%	1.0%	△ 1.0%
	フィンランド	0.0%	0.3%	△ 0.3%
	ノルウェー	0.0%	0.2%	△ 0.2%
	アイルランド	0.0%	0.1%	△ 0.1%
	イスラエル	0.0%	0.2%	△ 0.2%
	ポルトガル	0.0%	0.1%	△ 0.1%
オーストリア	0.0%	0.1%	△ 0.1%	
アジア・パシフィック地域	シンガポール	0.0%	0.4%	△ 0.4%
	オーストラリア	0.0%	2.1%	△ 2.1%
	香港	0.0%	0.6%	△ 0.6%
	ニュージーランド	0.0%	0.1%	△ 0.1%

※比率は株式部分のみを計算。計算にはBloombergを使用

国別の期中平均組入比率は、「イギリス」、「ドイツ」などの国を参考指標と比較して高位とし、「アメリカ」、「カナダ」などの国を低位としました。

「アメリカ」、「イギリス」などの組入れが、ポートフォリオ (米ドルベース) の騰落率に対して主なプラス要因になり、「ドイツ」の組入れが、主なマイナス要因になりました。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドは、世界の先進国・地域 (日本を除く) の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークはありません。

当期の基準価額の騰落率は+24.4%となり、同期間の参考指標の騰落率+44.0%を19.6ポイント下回りました。主な要因は、業種別ではコミュニケーション・サービスやヘルスケアでの銘柄選択、国別ではアメリカやドイツなどでの銘柄選択がマイナスに寄与したことです。

＜今後の運用方針＞

引き続き、経営力に秀で、質の高い、収益見通しのより明瞭な銘柄の発掘に注力し、特に明確な配当方針を持つ企業や、株主への利益還元真剣に取り組む姿勢を明らかにしている企業を選好して投資するとともに、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、株式組入比率は、原則として高位を保つこととし、銘柄の加除および入替え等が必要な場合は随時行っていきます。

なお、運用の指図に関する権限は、シュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 5 月11日～2024年 5 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 9 (9)	% 0.022 (0.022)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	14 (14)	0.033 (0.033)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	14 (14) (0)	0.035 (0.034) (0.001)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	37	0.090	
期中の平均基準価額は、41,618円です。			

(注 1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注 2) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第 3 位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2023年5月11日～2024年5月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 9,740	千ドル 35,774	百株 8,923	千ドル 34,455
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	3,851	7,316	1,995	7,260
	イタリア	3,017	1,306	9,165	3,559
	フランス	1,767	2,936	5,993	8,003
	オランダ	1,935	4,523	487	824
	スペイン	446	633	334	500
	ベルギー	177	678	1,498	5,356
	イギリス	34,415	千ポンド 10,111	25,671	千ポンド 12,000
	スイス	1,417	千スイスフラン 9,737	731	千スイスフラン 3,806

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年5月11日～2024年5月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	23,615,767千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	28,983,303千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.81

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月11日～2024年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年5月10日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千ドル	千円		
BEST BUY CO INC	—	501	3,718	579,021	一般消費財・サービス流通・小売り	
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	524	857	3,835	597,217	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CITIGROUP INC	826	703	4,451	693,092	銀行	
EBAY INC	1,006	836	4,210	655,643	一般消費財・サービス流通・小売り	
HP INC	—	1,372	4,068	633,458	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	336	153	2,547	396,659	ソフトウェア・サービス	
INTEL CORP	2,177	676	2,034	316,772	半導体・半導体製造装置	
MANPOWER INC	—	632	4,822	750,888	商業・専門サービス	
MARCUS & MILLICHAP INC	—	785	2,671	415,986	不動産管理・開発	
MICRON TECHNOLOGY INC	815	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
PFIZER INC	1,043	1,633	4,602	716,538	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
STANLEY BLACK & DECKER INC	564	589	5,198	809,411	資本財	
MOLSON COORS BEVERAGE CO	1,045	793	4,666	726,585	食品・飲料・タバコ	
VIATRIS INC	3,318	2,469	2,770	431,415	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	1,504	1,555	6,188	963,543	電気通信サービス	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	1,512	1,888	3,257	507,126	生活必需品流通・小売り	
WILEY (JOHN) & SONS-CLASS A	—	672	2,627	409,113	メディア・娯楽	
WESTERN UNION CO	3,518	2,891	3,843	598,403	金融サービス	
小 計	株 数 銘柄 数	・ 金 額 18,195	19,011	65,516	10,200,877	
		< 比 率 >	13	17	< 33.3% >	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BASF SE	1,009	1,053	5,253	881,625	素材	
BAYER AG	686	1,205	3,457	580,323	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CONTINENTAL AG	906	946	5,737	962,922	自動車・自動車部品	
HEIDELBERG MATERIALS AG	518	—	—	—	素材	
HENKEL AG & CO KGAA VOR-PREF	781	815	6,728	1,129,191	家庭用品・パーソナル用品	
RTL GROUP S.A.	1,129	1,178	3,494	586,544	メディア・娯楽	
Schaeffler AG Preference NPV	5,024	6,712	4,278	718,143	自動車・自動車部品	
小 計	株 数 銘柄 数	・ 金 額 10,056	11,912	28,950	4,858,751	
		< 比 率 >	7	6	< 15.8% >	
(ユーロ…イタリア)						
ENI SPA	2,733	2,355	3,541	594,373	エネルギー	
INTESA SANPAOLOA	19,297	13,526	4,841	812,598	銀行	
小 計	株 数 銘柄 数	・ 金 額 22,030	15,882	8,383	1,406,972	
		< 比 率 >	2	2	< 4.6% >	

しんきん世界好配当利回り株マザーファンド - 第19期 -

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フランス)					
AXA SA	百株	百株	千ユーロ	千円	保険
ORANGE	1,537	1,605	5,369	901,094	電気通信サービス
SANOFI	5,807	4,584	4,847	813,629	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SES GLOBAL-FDR	601	410	3,825	642,081	メディア・娯楽
	7,024	4,144	1,923	322,895	
小 計	株 数 ・ 金 額	株 数 ・ 金 額	15,966	2,679,701	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	< 8.7% >	
(ユーロ…オランダ)					
KONINKLIJKE AHOLD DELHAIZE NV	—	1,314	3,873	650,058	生活必需品流通・小売り
ING GROEP NV	3,035	3,168	5,080	852,668	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額	株 数 ・ 金 額	8,953	1,502,726	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	< 4.9% >	
(ユーロ…スペイン)					
REPSOL SA	2,558	2,670	3,943	661,816	エネルギー
小 計	株 数 ・ 金 額	株 数 ・ 金 額	3,943	661,816	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	< 2.2% >	
(ユーロ…ベルギー)					
AGEAS	1,015	1,060	4,782	802,676	保険
COLRUYT SA	1,366	—	—	—	生活必需品流通・小売り
小 計	株 数 ・ 金 額	株 数 ・ 金 額	4,782	802,676	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	< 2.6% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	株 数 ・ 金 額	70,980	11,912,644	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	< 38.8% >	
(イギリス)					
ANGLO AMERICAN PLC	500	1,699	4,649	906,511	素材
BT GROUP PLC	25,221	32,618	3,457	674,046	電気通信サービス
GSK PLC	3,560	2,132	3,796	740,135	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ITV PLC	57,721	60,256	4,615	899,821	メディア・娯楽
NATWEST GROUP PLC	12,803	16,880	5,364	1,045,811	銀行
SHELL PLC	1,390	—	—	—	エネルギー
STANDARD CHARTERED PLC	5,516	5,083	3,836	747,979	銀行
TESCO PLC	15,095	10,788	3,346	652,417	生活必需品流通・小売り
WPP PLC	3,674	4,769	3,964	772,867	メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額	株 数 ・ 金 額	33,032	6,439,591	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	< 21.0% >	
(スイス)					
ADECCO GROUP AG-REG	—	510	1,683	289,141	商業・専門サービス
SWISS RE AG	340	296	3,071	527,414	保険
SWATCH GROUP AG	—	217	4,274	734,023	耐久消費財・アパレル
小 計	株 数 ・ 金 額	株 数 ・ 金 額	9,029	1,550,579	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	< 5.1% >	
合 計	株 数 ・ 金 額	株 数 ・ 金 額	—	30,103,692	
	銘柄 数 < 比 率 >	銘柄 数 < 比 率 >	—	< 98.2% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注4) -印は組み入れなし。

○投資信託財産の構成

(2024年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	30,103,692	97.4
コール・ローン等、その他	797,380	2.6
投資信託財産総額	30,901,072	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (30,576,848千円) の投資信託財産総額 (30,901,072千円) に対する比率は99.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年5月10日現在、1ドル=155.70円、1ユーロ=167.83円、1ポンド=194.95円、1スイスフラン=171.72円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年5月10日現在)

○損益の状況 (2023年5月11日～2024年5月10日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	30,901,072,978
コール・ローン等	719,346,205
株式(評価額)	30,103,692,950
未収配当金	78,033,735
未収利息	88
(B) 負債	230,000,000
未払解約金	230,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	30,671,072,978
元本	6,513,821,832
次期繰越損益金	24,157,251,146
(D) 受益権総口数	6,513,821,832口
1万口当たり基準価額(C/D)	47,086円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,329,245,563
受取配当金	1,329,350,980
受取利息	1,628
その他収益金	47,618
支払利息	△ 154,663
(B) 有価証券売買損益	5,207,919,973
売益	7,667,355,599
売買損	△ 2,459,435,626
(C) 保管費用等	△ 10,372,902
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,526,792,634
(E) 前期繰越損益金	20,086,922,511
(F) 追加信託差損益金	3,182,003,657
(G) 解約差損益金	△ 5,638,467,656
(H) 計(D+E+F+G)	24,157,251,146
次期繰越損益金(H)	24,157,251,146

(注1) 当親投資信託の期首元本額は7,211,673,673円、期中追加設定元本額は1,049,196,343円、期中一部解約元本額は1,747,048,184円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
 しんきん世界好配当利回り株ファンド (毎月決算型) 5,064,865,576円
 しんきんグローバル6資産ファンド (毎月決算型) 737,727,539円
 しんきん世界好配当利回り株ファンド (1年決算型) 534,575,674円
 しんきんグローバル6資産ファンド (1年決算型) 176,653,043円

(注3) 1口当たり純資産額は4.7086円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

当ファンドを投資対象とするベビーファンドを新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について投資信託約款に所要の変更を行いました。(2023年8月5日実施)